

事業概要		工業用ゴム製品製造業																
該当する事業者要件		☒ 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)			前年度の原油換算エネルギー使用量		4,214 kl											
		☐ 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)			県内登録の自動車数		台											
		☐ 特定事業者以外の事業者																
計画期間		2019年度～2023年度																
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		1、環境負荷の低減に努め、環境保全を図る。 2、エネルギーコストの削減により経営の合理化を図る。 3、職場環境の維持、または、向上を図ると共に、省エネルギー活動の推進・継続・改善を行う。 4、省エネルギー及びCO ₂ 発生量の年度目標を定め、目標達成に向け定期的な見直し改善に努める。 5、省エネ法に基づき、設備の新設・更新を含む設備管理標準を定め、判断基準に則した自主基準の設定・順守に努める。 6、エネルギー管理方針は当社で働く全ての人に周知徹底させると共に、地球環境の大切さに対する理解と意識の向上を図り、全員参加の省エネルギーに努める。																
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		省エネルギー委員会 <table> <tr> <td>環境マネジメントシステム名称</td> <td>ISO14001:2015</td> <td>適用範囲</td> <td>熊本NOK(株)</td> <td>取得年月日</td> <td colspan="4">2007/3/28</td> </tr> </table>								環境マネジメントシステム名称	ISO14001:2015	適用範囲	熊本NOK(株)	取得年月日	2007/3/28			
環境マネジメントシステム名称	ISO14001:2015	適用範囲	熊本NOK(株)	取得年月日	2007/3/28													
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		【設備更新等】 ・チラー設備の更新(省エネタイプへ更新) ・太陽光発電の導入(2023年度に初期導入済、2024年度に追加設置) ・老朽化空調機の更新(省エネタイプへ更新) ・照明LED化(追加) 【その他の措置】 ・カーボンニュートラル活動の推進(部毎チーム活動によるCO ₂ 削減活動)																
温室効果ガス算定排出量等	年度区分	排出の状況及び目標			排出量等の実績													
		基準年度 (2018)年度	前年度 (2023)年度	目標年度 (2025)年度	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度									
	①排出量	8,191	7,791	7,747	6,723	6,656	9,349	6,628	7,791									
	燃料及び熱	57	41	42	47	41	42	36	41									
	電気	8,135	7,750	7,705	6,676	6,615	9,308	6,592	7,750									
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 5.4 %	△ 17.9 %	△ 18.8 %	14.1 %	△ 19.1 %	△ 4.9 %									
	②補完的手段による削減量		30	30					30									
	森林整備等		29.78	29.78					30									
	再生可能エネルギー																	
	グリーン電力証書等																	
	その他知事が認めるもの																	
①－② 差引後排出量	8,191	7,761.40	7,717.37	6,723	6,656	9,349	6,628	7,761										
削減率・増減率 (基準年度比)			△ 5.8 %	△ 17.9 %	△ 18.8 %	14.1 %	△ 19.1 %	△ 5.2 %										
原単位算定排出量等	排出量	0.477	0.494	0.475	0.396	0.431	0.539	0.441	0.494									
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 0.4 %	△ 17.0 %	△ 9.6 %	13.0 %	△ 7.5 %	3.6 %									
	差引後排出量	0.477	0.492	0.473	0.396	0.431	0.539	0.441	0.492									
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 0.8 %	△ 17.0 %	△ 9.6 %	13.0 %	△ 7.5 %	3.1 %									
	原単位の考え方	生産数量とCO ₂ 排出量にて算出。(製品1個当たりのCO ₂ 排出量)																

各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等	1年目 (2019)年度	【設備更新等】 ・予熱器の更新(11台) ・押出し機Vベルトの省エネベルト化(7台) 【その他の措置】 ・エアークOMPRESSOR設定圧力の変更(14台) 0.65MPa→0.60MPa ・プレス断熱ジャケットの取り付け(75台) ・COMPRESSOR送水ポンプの休日使用電力削減(2台) 【計画の進捗状況等】 ・全て実施済
	2年目 (2020)年度	【設備更新等】 ・*設備更新無し 【その他の措置】 ・エアークOMPRESSOR稼働台数の見直し(3台稼働削減) ・工場排気扇のインバーター化 ・休日電力シャットアウト(休日待機電力削減) 【計画の進捗状況等】 ・新型コロナの影響により、予定していた設備投資を中止又は一部延期にした。
	3年目 (2021)年度	【設備更新等】 ・稼働率計(電力計)の設置による電力使用量の適正化 【その他の措置】 ・工場排気扇の休日使用電力削減(カレンダータイマー制御) ・設備自動化に伴う設備台数圧縮(設備削減) ・カーボンニュートラル計画に基づく活動実施 【計画の進捗状況等】 ・新型コロナの影響により、予定していた設備投資を一部中止、延期にした。
	4年目 (2022)年度	【設備更新等】 ・空調機集中管理システムの導入による空調使用適正化 ・工場内照明のセンサー化 【その他の措置】 ・設備エア漏れ整備 ・カーボンニュートラル活動に基づく活動実施 【計画の進捗状況等】 ・概ね計画通り推進済
	5年目 (2023)年度	【設備更新等】 ・太陽光発電システムの導入 ・空調機の更新(3台) 【その他の措置】 ・カーボンニュートラル活動に基づく活動実施 【計画の進捗状況等】 ・概ね計画通り推進済
特記事項		

備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。

2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。

3 「基準年度」とは、原則、熊本県地球温暖化の防止に関する条例に基づく地球温暖化対策推進計画の基準年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。「前年度」とは、計画期間の前年度とします。また、「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。

4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とし、その単位はt-CO₂とします。

5 事業活動温暖化対策計画書を提出する場合は、「排出量等の実績」欄及び「各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等」欄は記入不要です。

6 原単位による目標を設定する場合は、「原単位算定排出量等」欄に記入してください。

「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。

7 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。